人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

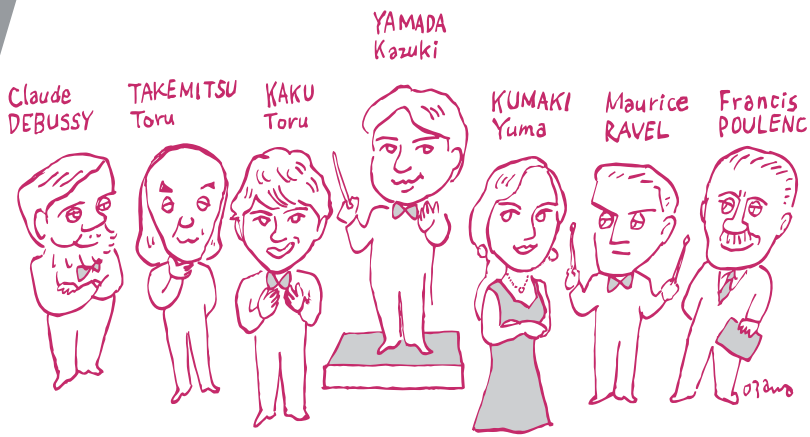
創立指揮者 渡邉暁雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2025 12 DEC

第776回
東京定期演奏会



サントリーホール
2025年11月28日（金）19:00　11月29日（土）14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

電源 OFF

演奏中は携帯電話や時計のアラームなど
デジタル機器の電源はお切りください。

音に ご注意を

ビニール袋
鞄にしまう、またはいすの下へ置くなど
物音がたたないようにご配慮ください。

飴の袋
客席内の飲食はご遠慮いただいて
おります。お咳の予防等でご利用
の際は、演奏前にお口の中に
いれるか、あらかじめ袋から出して
おく等のご準備をお願いいたします。

マジックテープやファスナーの音
開け閉めの音は意外に響きます。
演奏前にご確認ください。

鈴などアクセサリーがついたストラップ
鞄にしまうなど鳴らないように
ご配慮ください。

補聴器の音
ハウリングをおこさないよう、
しっかりと装着し、適切な音量に
調整をお願いいたします。

声と拍手に ご注意を

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って
響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。
最後の余韻までお楽しみください。

撮影 禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終演後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周囲に ご配慮を

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮って
いることもございます。周囲にご配慮を。

終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、
動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
・フラッシュの使用はお控えください
・動画の撮影はお控えください
・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
・自撮り棒などの使用はお控えください
・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください（録音・録画は違法行為です）

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ　#日本フィル　#japanphil　をつけてください!

CONTENTS
目 次

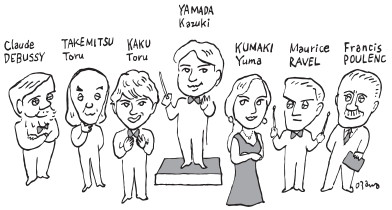
©KY_approved

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 小沼 純一 - 10
- 歌詞対訳 14
- 次回東京定期演奏会　指揮者にインタビュー 広上 淳一編 20
- 今後の日本フィル出演公演 22
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 31
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 32
- パトロネージュご芳名 36
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 38
- 写真プレイバック- 2025年9月 - 39
- 第九特別演奏会2025 40
- メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧 41
- インフォメーション 42
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 43

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION CONCERTS　Vol.776

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 776th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第776回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2025年11月28日(金)午後7時開演／29日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 28th & 2:00p.m., Saturday, 29th November, 2025

■ プレトーク「本日の聴きどころ」
東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。
今月は指揮者の山田和樹さんです。

金曜日／18：30～
土曜日／13：20～

主　催／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協　賛／株式会社ウテナ　鹿島建設株式会社
TANAKEN株式会社
ホッカンホールディングス株式会社
三井不動産株式会社　UBE株式会社

助　成／文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

表紙イラスト／小澤 一雄

指揮者インタビューはこちらから▶
（11月東京定期プログラム掲載）

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ドビュッシー：バレエ音楽《遊戯》　約20分
Claude DEBUSSY: Jeux, Poéme dansé

武満徹：マイ・ウェイ・オヴ・ライフ　約18分
ーマイケル・ヴァイナーの追憶にー*,***
TAKEMITSU Toru: My Way of Life — In Memory of Michael Vyner —

休憩（15分）Intermission

ラヴェル：ボレロ　約15分
Maurice RAVEL: Boléro

プーランク：スターバト・マーテル**,***　約32分
Francis POULENC: Stabat Mater, pour soprano solo,chœur mixte et orchestre

指揮：山田 和樹
Conductor: YAMADA Kazuki

バリトン：加耒 徹*
Baritone: KAKU Toru

ソプラノ：熊木 夕茉**
Soprano: KUMAKI Yuma

合唱：東京音楽大学、ハルモニア・アンサンブル***
Chorus: Tokyo College of Music, harmonia ensemble

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ご自宅で公演の感動を何度でも

11月28日（金）公演は一部ライブ＆アーカイブ配信あり!

販売期間：～2026年5月27日
視聴期間：購入から3か月
料　　金：1,000円

Member's TVU CHANNELにて配信
https://members.tvuch.com

現在配信中の公演及び配信予定はP41をご覧ください

©Zuzanna Specjal

Conductor 指揮

山田 和樹
YAMADA Kazuki

2009年、第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝し、ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。

これまでに、2012年から2018年までスイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者を務めた。2016/17シーズンからはモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督を務め、2024年5月にはバーミンガム市交響楽団音楽監督に就任した（2023年4月より首席指揮者兼アーティスティックアドバイザー）。さらに、2026/2027シーズンより、ベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者兼芸術監督に就任予定である。

日本国内では、2012年から2022年までの10年間日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を務めたほか、東京混声合唱団の音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督を務めている。2026年4月より東京芸術劇場の芸術監督（音楽部門）に就任予定。

世界の主要オーケストラに招かれており、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団に定期的に客演。近年は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、サンフランシスコ交響楽団などにデビュー。また、エマニュエル・アックス、エフゲニー・キーシン、クリスチャン・ツィメルマン、イザベル・ファウスト、チョ・ソンジンなど、世界的なトップソリストとの共演も重ねている。小澤征爾スイス国際アカデミーに毎年ゲスト・アーティストとして招かれるなど教育活動にも熱心で、バーミンガム市交響楽団のアウトリーチ・プログラムにも注力している。

受賞歴も多く、出光音楽賞、渡邉暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、第56回サントリー音楽賞など多数。2022年にはモナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受章。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。ベルリン在住。

©T. Tairadate

Baritone バリトン

加耒 徹
KAKU Toru

福岡市出身。東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞受賞、武藤舞奨学金を受ける。二期会オペラ研修所マスタークラスを総代で修了。最優秀賞および川崎靜子賞受賞。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。

バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、バッハ・コレギウム・ジャパンでは「マタイ受難曲」のCDに参加する他、2021年1月の《エリアス》ではタイトルロールを務め絶賛された。2026年3月から4月にかけて開かれるオランダバッハ協会の「マタイ受難曲」公演のソリストに抜擢され、オランダ各地での13公演の出演が予定されている。

東京オペラシティ財団主催リサイタルシリーズ《B→C》では東京、福岡両公演満席の中、10ヶ国語による歌曲プログラムを熱演。

オペラでは《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロール、《コジ・ファン・トゥッテ》グリエルモ、《ランメルモールのルチア》エンリーコ、《ナクソス島のアリアドネ》ハルレキン、《ジューリオ・チェーザレ》アキッラ、《ルル》シェーン博士、《金閣寺》鶴川、《こうもり》ファルケ、《午後の曳航》1号役などに出演。

舞台・ミュージカル作品での演奏も好評で、日生劇場主催《アラジンと魔法のヴァイオリン》《アラジンと魔法の音楽会》ではアラジン王子役として全国でツアーを行ない、2018-19日本フィル＆サントリーホール『とっておきアフタヌーン』ではナビゲーターとして出演。

メディアでもテレビ朝日『題名のない音楽会』をはじめ、NHK-Eテレ『すくすく子育て』NHK-FM『リサイタルノヴァ』などに出演し活動の場を広げている。

2025年4月には5thアルバム『TORU KAKU meets SCHUMANN』をリリース。

その他MSJ『フィガロの結婚』CDフィガロ役やプロムジカ使節団CD『イタリアンソングwith加耒徹』ではイタリア初期バロックのプログラムを演奏している。

女声合唱団「サーナ・テクセレ」音楽監督、混声合唱団「コール・グラウベン福岡」音楽監督。洗足学園音楽大学非常勤講師。

©GODA

Soprano ソプラノ

熊木 夕茉
KUMAKI Yuma

奈良市出身。大阪教育大学教員養成課程小中教育専攻教育コース卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。第7回豊中音楽コンクール大学・一般の部にて入賞を皮切りに、第 27 回 KOBE 国際音楽コンクール（兵庫県文化協会賞受賞）、第 25回姫路パルナソスコンクール、第43回飯塚新人音楽コンクール、第33回宝塚ベガ音楽コンクール・声楽部門等で連続して高位入賞。

2024年、原田慶太楼指揮 東京交響楽団 第723定期演奏会でプーランク「グローリア」のソリストを務め、日本楽壇にデビュー。歌曲はドビュッシー、フォーレのフランス歌曲や武満徹作品などに取り組み、オペラではヘンデル《アタランタ》メレアーグロ、《アルチーナ》モルガーナ、モーツァルト《後宮からの逃走》コンスタンツェ、《皇帝ティートの慈悲》ヴィテッリア、トマ《ハムレット》オフェーリア、ロッシーニ《ブルスキーノ氏》ソフィア、ドニゼッティ《ランメルモールのルチア》ルチア、グノー《ロミオとジュリエット》のジュリエット、《ミレイユ》ミレイユ、《こうもり》アデーレ、《ラ・ボエーム》ムゼッタなどのレッジェーロ・コロラトゥーラの作品を特に得意としている。

そして、2024年には日生劇場《連隊の娘》マリー役（主演）を務めて、日本での鮮烈なオペラデビューを飾った。

2025年には愛知室内オーケストラの新春コンサートに出演し、この秋には山田和樹指揮 日本フィルハーモニー交響楽団でプーランク「スターバト・マーテル」、読売日本交響楽団「第九」等のオーケストラとのデビューが予定されている。

これまでに、寺尾正、浦田恵子、日紫喜恵美、高橋薫子、クラウディア・マルキの各氏に師事。

2024年度公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団の助成を得てイタリアで研鑽中。

Chorus 合唱

東京音楽大学
Tokyo College of Music

東京音楽大学合唱団は「合唱」授業科目の履修者から選抜された学部生と声楽専攻の大学院生を中心に構成する混声合唱団で、国内外の著名オーケストラと数多くの共演を果たしている。日本フィルハーモニー交響楽団との共演は、「第九」を始めとして1979 年以来40 年以上の歴史を持つ。

2023 年には日本フィルハーモニー交響楽団「クレルヴォ交響曲」「第九」《道化師》「カルミナ・ブラーナ」、2024年には「地中海のテーマ」「第九」、2025年には「復活」、《仮面舞踏会》、《惑星》に出演。

合唱指導は2024年度より、志村文彦、杉野正隆、藤牧正充、浅井隆仁の各氏に加え、フレンドリー・アドバイザーとして広上淳一氏を迎えている。

Chorus 合唱

ハルモニア・アンサンブル
harmonia ensemble

2009年4月に高水準の合唱演奏の実現による日本の合唱文化の発展を目的として結成されたプロフェッショナルの室内合唱団。ルネサンスから現代音楽までの幅広い合唱音楽をレパートリーとし、日本の作曲家への委嘱活動も積極的に行っている。第40回トゥール国際合唱コンクール（仏）グランプリ及び聴衆賞、第10回世界合唱シンポジウムに招聘。主催公演の他、全国の合唱祭への招待、芸術鑑賞教室、CD録音、『日本名曲アルバム』、『ららら♪クラシック』sへのTV出演等多岐に亘り活動している。日本フィルハーモニー交響楽団定期公演には2021年ホルスト《惑星》（指揮：山田和樹）、2023年にマーラー「交響曲第3番」（指揮：カーチュン・ウォン）に出演している。音楽監督：福永一博。

プログラム・ノート 解説：小沼 純一

一見してすぐわかる。20世紀前半に活躍したフランスの作曲家が3名と武満徹とが組みあわされた4曲というプログラム、と。ドビュッシーとラヴェルは舞踏のための音楽として書き、プーランクと武満徹は独唱・合唱を伴っている。楽曲のつくり、ひびきのつながりという点で、数多な違いはありつつも、ひびきあうところがある作品たち、とおもう。だが、すこし何かが引っ掛かる。何だろう――しばらく考えてわかったのは、これらの作品が作曲家の生涯、終わりにちかい時期に書かれたということ。《遊戯》は55年の生涯で50歳、《ボレロ》は62年の生涯で53歳、《マイ・ウェイ・オヴ・ライフ》は65年の生涯で60歳、《スターバト・マーテル》のみすこし早く、64年の生涯で51歳。多少の違いはあるけれど、いずれも50歳は越えての作品だ。もうひとつは、武満作品とプーランク作品は、亡くなってほどない友人へと捧げられた一種のミサ曲でもあること。ドビュッシーとラヴェルの3拍子で書かれたそれぞれの舞踏曲と、合唱をともなう穏やかな大曲が交互に配される、構成として稀有なプログラムではないだろうか。

◆ ドビュッシー：バレエ音楽《遊戯》

クロード・ドビュッシー（1862-1918）の最後のオーケストラ曲にして、舞踏のための音楽で、原題は「Jeux, poème dansé」、副題に「踊られる詩」とある。委嘱はバレエ・リュスのセルジュ・ディアギレフ、ヴァーラフ・ニジンスキーの台本と振付、レオン・バクストの舞台美術・衣裳、ピエール・モントゥー指揮で1913年5月、シャンゼリゼ劇場にて初演。ドビュッシーは舞踏のための作品をほかにも残しているものの、いずれも生前に初演に至ってはいない。唯一、出世作ともいえる《牧神の午後への前奏曲》（1894）は、《遊戯》前年の1912年《牧神の午後》として（やはりニジンスキーの手により）バレエ化されてはいるのだが、はじめから踊られるために書かれ、初演もおこなわれたという意味では唯一の作品が《遊戯》なのだ。ちなみにシャンゼリゼ劇場は1913年4月に開館。5月15日に《遊戯》の初演、まだ1か月強。しかも同月29日にストラヴィンスキー《春の祭典》初演が。斬新な《遊戯》だったのだが、《春の祭典》の「事件」には及ばなかった。尤も、翌1914年5月にコンセール・コロンヌでの演奏会以降、《遊戯》は重要なオーケストラ・レパートリーとなり、さらに第二次世界大戦後は当時の若き作曲家たち（ジャン・バラケ、ピエール・ブーレーズ）らが「予言」的であることを強調するようにもなった。聴いていると、いささかとらえどころのなく感じられるかもしれないが、細かいところまでじつに精妙に組みたてられており、20世紀後半以降の音楽への予言となったのである。

時は夕暮れ。テニス・ラケットを持つ男性と2人の女性のいちゃつきがバレエになっている。楽曲のタイトルは「遊戯（jeux）」とされるものの、大枠はテニスの試合と、いちゃつきと、両者を掛けている。しょっちゅう曲調が変わるのは、3人のさまざまな関係が入れ替わるから。ときに諍いがあり、ときに優しくしたり、ときに遠ざかったりといった舞台上の様子を想像すると、楽曲上の複雑なつくりより、身近に感じられようか。戯れの三角関係の機微が音楽のなかに織りこまれていると言い換えることもできるかもしれない。テンポも移り変わるが、3拍子で3人、という重なりがある。

楽器編成：ピッコロ2、フルート2、オーボエ3、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット3、バス・クラリネット1、ファゴット3、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、タンブリン、シロフォン、ハープ2、チェレスタ1、弦楽5部。

◆ 武満徹：マイ・ウェイ・オヴ・ライフ ―マイケル・ヴァイナーの追憶に―

1990年6月30日、武満徹（1930-1996）がテーマ作曲家だった（イングランド北部の）リーズ・フェスティヴァルで初演（フランソワ・ル・ルーのバリトン、オペラ・ノース合唱団、サイモン・ラトルの指揮、バーミンガム市交響楽団）。テクストがあり、独唱と合唱を伴ったオーケストラ作品は、この作曲家では唯一のもの。テクストは詩人・田村隆一（1923-1998）のエッセイ（高橋康也の）英訳が用いられる。「生活作法」を、木をみつめ、木の「生活作法」を、ひとと対照しながら考え、ことばに、うたにする――ことばと音楽が、ひとと木とかさねられるように、ひとつとなる。

「作曲家を志した頃、私は、重症の結核で、たえず死というものに脅かされていた。そして現在は、健康ではあっても、死は以前よりもずっと間近にあり、それをおそれるよりは、むしろ、親しいものとして感じられるよう

な年齢になった。私は、現在、ごく素直に自分のうたを親しい友たちの前でうたうような気持ちで、この作曲を終えた」――武満徹のプログラム・ノートにはこのような文章がある。かならずしも朗々とうたいあげられるわけではないものの、息によってうたがふくらみ、またゆっくりと落ちつく、ひとの呼吸が持つ紡錘のかたちを持っている。はじめ「前衛」と呼ばれていた時期の作品とは異なり、親しみやすいメロディが、この作曲家に特徴的なひびきのうえに重ねられる音楽だ。

マイケル・ヴァイナー（1943-1989）はイギリスの音楽ディレクターで、ロンドン・シンフォニエッタを創設、リーズ・フェスティヴァルで本作を作曲家に委嘱した人物だったが、初演の前年に逝去。武満徹はフェスティヴァルとつながりのあるこの作品のみならず、ピアノのための《リタニ―マイケル・ヴァイナーの追憶に―》を、没後、捧げている。

楽器編成：独唱バリトン、混声4部合唱、フルート3（ピッコロ持替1、アルト・フルート持替1）、オーボエ2（オーボエ・ダモーレ持替1）、クラリネット3（Es管クラリネット特替1、バス・クラリネット持替1）、ファゴット2（コントラ・ファゴット持替1）、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、シンバル、トライアングル、チャイニーズ・シンバル、アンティーク・シンバル、テューブラーベル、ゴング、ヴィブラフォン、銅鑼、グロッケンシュピール、ハープ、チェレスタ、弦楽5部。

◆ ラヴェル：ボレロ

1928年11月22日、パリ・オペラ座で初演。前年、モーリス・ラヴェル（1875-1937）はダンサーのイダ・ルビンシュタインの依頼を受ける。はじめはアルベニスのピアノ曲から数曲選び、オーケストラ用に編曲するというものだった。作業は進められたが、ほかの作曲家が並行しておなじような編曲を手掛けていたことが発覚、作曲家はべつの、オリジナル作品へと方向を転換する。作曲はかならずしもスムーズではなかったようだし、完成しても自作について作曲家は半信半疑であったといわれるけれど、じき初演から100年を迎えつつある現在、コンサート・ピースのみならず、斬新な舞踏から映画と、人気が衰えるようにはみえない。

スネア・ドラムのリズムは変わらない。冒頭からエンディングまで。最後の数小節をのぞいて、このリズムにのって16小節のパターンが２回、つづいてもうひとつの16小節のパターンが２回くりかえされる。楽器を変え、ひたすらクレッシェンド。このかたちが全部で4回。さらに一度、はじめの16小節が、さらにもうひとつのパターンの16小節がすこし変形され、崩れ落ちるように、終わる。このさまは、何に似ているだろう？

楽器編成：ピッコロ1、フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ2（オーボエ・ダモーレ持替1）、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2（E♭管クラリネット持替1）、バス・クラリネット1、サクソフォン2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、D管トランペット1、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、小太鼓、銅鑼、ハープ1、チェレスタ1、弦楽5部。

◆ プーランク：スターバト・マーテル

1951年6月13日、ストラスブールで、フリッツ・ミュンシュ指揮、ジュヌヴィエーヴ・モワザンがソプラノ独唱で初演。

フランシス・プーランク（1899-1963）は敬虔なカトリック信者で、多くの宗教作品を手掛けた。本作と、ほぼ10年後の《グローリア》、そして作曲家の没後に初演された《テネブレの7つの応唱》が独唱と合唱にオーケストラが加えられた作品として、ある。

スターバト・マーテルは悲しみの聖母と訳され、イエス・キリストが磔刑となったとき、聖母マリアがうけた悲嘆を浮かびあがらせる。プーランクが用いたのは、13世紀の修道士であり詩人、ヤコポーネ・ダ・トゥーディのテクスト。そして、タイトルの傍らには、「クリスティアン・ベラ―ルの想い出に、その魂がロカマドゥールの聖母に託されるよう」と記されている。「誰々のおもいでに」と記した楽曲をいくつも残しながら、いわゆる「レクィエム／死者のためのミサ曲」を手掛けなかったプーランクが、レクィエムと呼ぶかわりに残した、以下12曲の宗教的大作である。

悲しみの聖母は（Très calme）／嘆き、憂い、悲しむその魂は（Allegro molto-Très violent）／神のひとり子の聖なる母（Très lent）／敬虔なる聖母は（Andantino）／キリストの御母が（Allegro molto-Prestissimo）／聖母は最愛の御子が（Andante）／ああ聖母よ（Allegro）／私の心が（Maestoso）／聖なる母よ（Moderato-Allegretto）／私にキリストの死を負わせ（To.de Sarabande）／聖なる処女よ（Animé et très rythmé）／この身が死にゆくとき（Très calme）

ベラールは画家で舞台美術家、コクトーらのちかくにいた仲間のひとり。1949年に没。ロカマドゥールの聖母とは、かの地の聖堂に収められている、木でできた1メートル足らずの聖母像だが、全体が黒い（フランス中央高地にはこのような黒い聖母が何体も存在する）。

楽器編成：独唱ソプラノ、混声5部合唱、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット3、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ、ティンパニ、ハープ2、弦楽5部。

マイ・ウェイ・オヴ・ライフ ーマイケル・ヴァイナーの追憶にー

作詩 田村 隆一　高橋 康也（英訳）

My Way of Life
Text by Ryuichi Tamura (in English, translated by Yasunari Takahashi)

私の生活作法
テキスト：田村隆一

Baritone
I was once asked to write about "my way of life."The expression puzzled me. I suppose a cat has its way of life, and a dog must have its own. So I composed the following poem.

バリトン
生活作法ということを聞いてぼくはびっくりした。猫には猫の生活作法があり、犬には犬の生活作法があるだろう。そこでぼくはこんな詩をかいてみた。

Chorus
I like a tree because it is mute.
I like a tree because it doesn't walk or run around.
I like a tree because it doesn't yell about love or justice.

合唱
木は黙っているから好きだ
木は歩いたり走ったりしないから好きだ

木は愛とか正義とかわめかないから好きだ

Is this true?
Is it really so?

ほんとうにそうか
ほんとうにそうなのか

Baritone
To a discerning eye,
A tree is whispering—in its calm, soothing voice.
A tree is walking—towards the sky.

バリトン
見る人が見たら
木は囁いているのだ　ゆったりと静かな声で
木は歩いているのだ　空にむかって

A tree is running as swiftly as lightening—into the earth.
True, a tree doesn't yell, yet
A tree is

木は稲妻のごとく走っているのだ　地の下へ
木はたしかにわめかないが
木は

Love itself, Otherwise, why would birds come flying
To perch on its branches?
It's justice itself.
Otherwise, why would its roots suck up subterranean water
To return it into the air?

愛そのものだ　それでなかったら小鳥が飛んできて
枝にとまるはずがない
正義そのものだ
それでなかったら地下水を根から吸いあげて
空にかえすはずがない

Chorus
Green sapling.
Gnarled old tree.
No two trees are the same.
No two trees are awake
In the selfsame starlight.

合唱
若木
老樹
ひとつとして同じ木がない
ひとつとして同じ星の光のなかで
目ざめている木はない

Tree,
I love you deeply.

木
ぼくはきみのことが大好きだ

Baritone
A human being has its own way of life, which is usually referred to as "his or her style".
Now let me give you some tips on my way of life.
Sleep soundly.
Go on long walks.
Daydream. (Let's subside gracefully into senility.)

バリトン
人には、人の生活様式があり、
その様式をスタイルと呼ぶ。

では、私の生活作法をお教えしよう。

よくねむること
よく歩くこと
ぼんやりしていること（みんなといっしょに美しくぼけましょう）

Chorus
Starlight.
Wild flower.
Surging horizon where sea meets sky.
Inverted horizon where earth meets sky.

合唱
星の光
野の花
さかまく地平線
倒立する地平線

Beneath a hat, a face.
Beyond the open door, a figure.

帽子の下に顔があり
ドアをあければ人がいる

The mark of a bird's wing
Etched in the snow.
The footprints of a small animal.
The speed of the setting sun.
The misty moon in spring.

雪にきざまれた
鳥の羽
小動物の足跡
秋の夕陽の落下速度
春のおぼろ月

Baritone
"It is not time that passes on
But ourselves. We pass on".
So
I once wrote.
I have seen many pass on.
I too
Will pass on some day.

バリトン
「時が過ぎるのではない
人が過ぎるのだ」
と
ぼくは書いたことがあったっけ
その過ぎてゆく人を何人も見た
ぼくも
やがては過ぎて行くだろう

Chorus
One sees with a pair of eyes.
Whatever
Have they witnessed?

合唱
眼が見える
いったい
その眼は何を見た

Baritone & Chorus
"Time" is all they have witnessed.

バリトンと合唱
「時」を見ただけ

©1991 Schott Japan Company Ltd.

プーランク：スターバト・マーテル

歌詞対訳：日本フィル企画制作部

I
Stabat Mater dolorosa
juxta Crucem lacrimosa,
dum pendebat Flius.

I
悲しみの聖母は佇んでいた
涙ながらに　御子の懸けられた
十字架のもとに

II
Cuius animam gementem,
contristatam ac dolentem
pertransivit gladius.

II
嘆き、憂い、悲しむその魂は
鋭い刃によって
貫かれた

III
O quam tristis et afflicta
fuit illa benedicta,
Mater Unigeniti!

III
神のひとり子の聖なる母
その悲しみと痛みは
どれほどか

IV
Quae moerebat et dolebat
et tremebat dum videbat
Nati poenas inclyti.

IV
敬虔な聖母は
尊き御子の苦しみをみて
悲しみに沈む

V
Quis est homo qui non fleret
Matrem Christi si videret
in tanto supplicio?
Quis non posset contristari
Matrem Christi contemplari,
dolentem cum Flio?
Pro peccatis suae gentis
vidit Jesum in tormentis
et flagellis subditum.

V
キリストの御母が
かくも苦悩する姿を見て
涙せぬ者がいるだろうか
キリストの御母が
その御子とともに苦しむのを見て
悲しまぬ者がいるだろうか
聖母はイエスが
人々の罪のため
責められ鞭うたれるのを見た

VI
Vidit suum dulcem Natum

VI
聖母は最愛の御子が

desolatum morientem
dum emisit spiritum.

御魂を見捨てられ
息絶えゆくのを見た

VII
Eja Mater fons amoris,
me sentire vim doloris,
fac, ut tecum lugeam.

VII
ああ聖母よ、慈しみの泉よ
私にその悲しみを感じさせ
あなたと共に嘆かせてください

VIII
Fac, ut ardeat cor meum
in amando Christum Deum,
ut sibi complaceam.

VIII
私の心が
主たるキリストへの愛へ燃え
その御心にかないますように

IX
Sancta Mater, istud agas
Crucifixi fige plagas
cordi meo valide.
Tui nati vulnerati
tam dignati pro me pati
poenas mecum divide.
Fac me tecum pie flere,
Crucifixo condolere,
donec ego vixero.
Juxta crucem tecum stare
te libenter sociare
in planctu desidero.
Virgo virginum praeclara,
mihi jam non sis amara,
fac me tecum plangere.

IX
聖なる母よ
十字架に懸けられた御子の傷を
私の心に深くしるしてください
私のために傷つけられた
御子の苦しみを
私にも分かち合わせてください
共に嘆かせてください
十字架に懸けられた御子の苦しみを
私の命ある限り
あなたとともに
十字架のもとに立ち
共に嘆かせてください
選ばれし処女よ
私を退けず
あなたと共に嘆かせてください

X
Fac ut portem Christi mortem,
passionis fac consortem
et plagas recolere.

X
私にキリストの死を負わせ
受難をともに受けさせ
傷を与えてください

Fac me plagis vulnerari
cruce hac inebriari,
ob amorem Flii.

その傷を私にも負わせ
十字架と御子の血をもって
酔わせてください

XI
inflammatus et accensus
per te, Virgo, sim defensus
in die judicii.
Christe, cum sit hinc exire,
da per matrem me venire
ad palmam victorae.

XI
聖なる処女よ、
地獄の火に焼かれぬよう
審判の日にお守りください
キリストよ、この世を去るときには、
あなたの御母を通して、
勝利の栄冠へと私を導いてください。

XII
Quando corpus morietur,
fac ut animae donetur
paradisi gloria.
Amen.

XII
この身が死にゆくとき
魂には
楽園の栄光をお授けください
アーメン

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

第777回

サントリーホール

2026年1月16日(金)19:00開演　プレトーク　広上 淳一氏 18:30〜

1月17日(土)14:00開演　13:20〜

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

広上淳一が解き明かす最晩年の謎、ショスタコーヴィチ第15番

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー！

広上 淳一 編

き手・文　山野 雄大

――年明け1月の東京定期では、20世紀ロシアを代表する作曲家ドミトリ・ショスタコーヴィチ（1906〜75）が最晩年に書いた傑作、交響曲第15番（1971年作曲）をお愉しみいただきます。聴きやすいのに謎めいた不思議な曲と言いますか‥‥おもちゃ箱のようでもありながら、のぞき込んでみると深淵が広がっているような、とても面白い作品です。

自分もいま70歳近くなってきて、この曲にあらためて何か共感するものを覚えるんです。‥‥この曲の第1楽章には、ロッシーニの《ウィリアム・テル》序曲の引用が出てきたりするんですよね。

――ショスタコーヴィチの息子さんいわく、この引用は〈父が子供の頃、最初に好きになったメロディ〉だそうで、おもちゃ屋さんで小さな兵隊さんの人形がラッパを吹きながら行進する‥‥といったイメージらしいのですが、作曲家の幼年時代の幻想がフラッシュバックするわけですね。

あれだけ壮大な作品をたくさん書いて、何度も命の危険にさらされる苦しみを経験したショスタコーヴィチが、人生の最後にこんな交響曲を書いた。ここにあるのは、ある種の〈虚無感〉であり〈諦念〉でもある。彼はこの曲で、自分の身体を骸骨にして見せたような気がするんですね。

――終楽章のエンディングですとか、言われてみると〈死の舞踏〉のようにも聴こえますね。

打楽器の合奏で静かに終わってゆく‥‥そこで響くスネアドラム［小太鼓］のリズムなんて、まるで『スパイ大作戦』みたいですが（笑）、深いですよ。そこには〈世界は昔に比べてこれだけ便利な時代になったのに、どうして人間は幸せになれていないのか‥‥〉という問いかけも響いている。

――静かなのに怖いこのエンディングは、時間の流れに抗しきれない生の〈諦念〉のようで。

正にそういうことです。

――パワフルな響きの厚みから室内楽的な美しさまで、オーケストラ表現の幅広さを語り尽くすような傑作交響曲ですが、ロッシーニやワーグナー、過去の自作からの引用をはじめ、イニシャルを音化したモチーフが響いたり‥‥謎が謎を呼ぶ音楽には、聴き手の想像力もかきたてられます。

自分の人生を振り返ってみても、予期しなかったことが良い結果に結びついたり、逆もあったりします。私も人生の終末を考えなきゃいけないわけですが、音楽家としては悔しさがあるわけですよ。〈もっと出来るはずだ〉とか。あるいは逆に〈いやそんなことはない、無理してここまで来れたんだ〉とも思ったりして、両方の思いが交錯するわけです。その〈諦念〉や〈ノスタルジー〉が、この曲にも重なり、当てはまる気がしている。

――そしてコンサート前半では、トルコの鬼才ピアニストにして作曲家、ファジル・サイ（1970〜）のチェロ協奏曲《Never Give Up》（2017年）をお聴きいただきます。今回もソロにお迎えするパリ生まれのチェリスト、カミーユ・トマさんが世界初演された作品です。

トマさんは素敵なチェリストですよ。彼女がぜひこの曲を、と希望されたので、ぜひと。サイは凄い才能ですから。ピアノも完璧なテクニックを持っていて上手いし作曲も凄い。穏やかな中にも非常に激しいものを持った、細かいところまで感じ取りながら大きく俯瞰して捉えられる、素晴らしい音楽家です。

――この《Never Give up》は、ヨーロッパとトルコで起きた痛ましいテロ事件に焦点を当てた作品です。悲歌を挟んで最後は〈希望の歌〉で終わるコンチェルトは、タイトルに込められた〈自由と平和への叫び〉を響かせます。ショスタコーヴィチ作品と併せることで、照らし合うものも深いと思います。

そして、個人的な話になりますけど、日本フィル奏者の中里州宏くん［トランペット］が、この演奏会を最後に退団となるんです。大学の学年がひとつ上で、僕がコンクール［現：東京国際指揮者コンクール］で日本フィルを振ったときにも僕の指揮で吹いてくれた。あれから40数年ずっと吹き続けてきたというのは、大変なことなんです。それで〈最後はお前の定期にするからな〉って言ってくれるのは、僕にとって本当にありがたい名誉だと思います。

今後の日本フィル出演公演 2025年12月〜2026年1月

2025	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
12月	宇都宮第九合唱団 第44回第九演奏会 宇都宮市文化会館 **6**[土]**15:30**	指揮: 広上淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ソプラノ:砂川 涼子 メゾソプラノ:金子 美香 テノール:工藤 和真　バリトン:高橋 宏典 合唱:宇都宮第九合唱団 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》 他	お問合せ: 宇都宮第九合唱団
	東京フロイデ合唱団 第25回「第九」演奏会 東京芸術劇場 **7**[日]**14:00**	指揮:小松 長生 ソプラノ:佐藤 美枝子　メゾソプラノ:林 美智子 テノール:西村 悟　バリトン:加耒 徹 合唱:東京フロイデ合唱団 ヴェルディ:歌劇《アイーダ》より凱旋行進曲 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	お問合せ: 東京フロイデ合唱団
	日本フィル・ソニックシティ 「第九」演奏会2025 ソニックシティ **12**[金]**19:00**	指揮:出口 大地 ピアノ:鈴木 愛美　ソプラノ:砂田 愛梨 メゾソプラノ:山下 裕賀 テノール:石井 基幾　バリトン:高橋 宏典 合唱:埼玉第九合唱団 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第2番 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	日本フィル・サービスセンター
	第九特別演奏会2025 **13**[土]**15:00** 横浜みなとみらいホール (第413回横浜定期演奏会) **14**[日]**14:00** サントリーホール	指揮:出口 大地 ソプラノ:砂田 愛梨　メゾソプラノ:山下 裕賀 テノール:石井 基幾　バリトン:高橋 宏典 合唱:東京音楽大学(12/13)、 日本フィルハーモニー協会合唱団(12/14) ウェーバー:歌劇《オベロン》序曲 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第九特別演奏会2025 **20**[土]**14:00** サントリーホール 残席僅少 **21**[日]**14:00** 横浜みなとみらいホール **23**[火]**19:00** 東京芸術劇場 **27**[土]**14:00** 東京芸術劇場 **28**[日]**14:00** 東京芸術劇場	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] オルガン:石丸 由佳*　ソプラノ:小川 栞奈 メゾソプラノ:山下 牧子　テノール:錦織 健 バリトン:寺田功治(12/20-23) 青山貴(12/27、28) 合唱:東京音楽大学(12/20、21)、 武蔵野合唱団(12/23)、 日本フィルハーモニー協会合唱団(12/27、28) メンデルスゾーン: オルガン・ソナタ第1番 op.65 より II.アダージョ パッヘルベル: クリスマス・コラール《高き天よりわれは来たれり》 J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 (以上3曲オルガン独奏*) ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	

2026	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
1月	東北の夢プロジェクトin東京 2026 〜東北の子どもたちの輝きを、東京へ!〜 東京芸術劇場 **7**[水]**15:00**	指揮:永峰 大輔 ピアノ:上原 彩子* ナビゲーター:江原 陽子 【第1部】オーケストラ＆ピアノ J.シュトラウスII世:喜歌劇《こうもり》序曲 ラヴェル:ピアノ協奏曲* 【第2部】子どもたちのステージ 赤澤芸能保存会[赤澤鎧剣舞](大船渡市) 福島県合唱連盟県南支部「合唱塾」(郡山市)** 【第3部】合唱＆オーケストラ 宮沢賢治(星出和宏編曲):星めぐりの歌** 小田美樹(信長貴富編曲):群青** ラヴェル:ボレロ	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第79回杉並定期演奏会 杉並公会堂 完売 **10**[土]**15:00**	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] J.シュトラウスII世: ワルツ《美しく青きドナウ》 J.シュトラウスII世/ヨーゼフ・シュトラウス: ピツィカート・ポルカ スメタナ:交響詩《モルダウ》 ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》	お問合せ: 杉並公会堂
	第412回名曲コンサート サントリーホール 完売 **11**[日]**14:00**		
	第777回東京定期演奏会 サントリーホール **16**[金]**19:00** **17**[土]**14:00**	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] チェロ:カミーユ・トマ ファジル・サイ: チェロ協奏曲《Never give up》 ショスタコーヴィチ:交響曲第15番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	にじクラ第9回 サントリーホール **21**[水]**14:00**	指揮:坂入健司郎 ヴァイオリン:髙木凛々子 * ナビゲーター＆語り:高橋克典 サラサーテ:カルメン幻想曲 * ラヴェル:演奏会用狂詩曲『ツィガーヌ』* ビゼー:『カルメン』第1・2組曲 より (高橋克典による語りつき) 闘牛士／衛兵の交代／ハバネラ／ セギディーリャ／アルカラの竜騎兵 闘牛士の歌／間奏曲／密輸入者の行進／ アラゴネーズ／前奏曲	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911[平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp
公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp

utena

絶滅危惧化粧品

投稿で助けてください

#ウテナモイスチャーを救え

utena
Moisture
ウテナ モイスチャー

お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

1983年生まれのアロエエキス配合スキンケア　ウテナ モイスチャーは
（保湿成分）
40年以上、愛用者の皆様の美肌を支え続けてきました。
これからも、たくさんの美肌を生み出せると信じています。

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411　www.utena.co.jp

想像を、チカラに。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

つぎはなにが
できるんだろう

子供たちに何が残せるか。
それは、これからもずっと住みやすい環境ではないだろうか。
一度失えば取り戻すことの難しい環境について、
何ができるのか考え続けている。
私たちは、解体の技術やノウハウで
人にやさしい環境づくりを目指して社会に貢献していく。
すべての人にやさしい環境を、つくりたい。

人にやさしい環境をつくる。

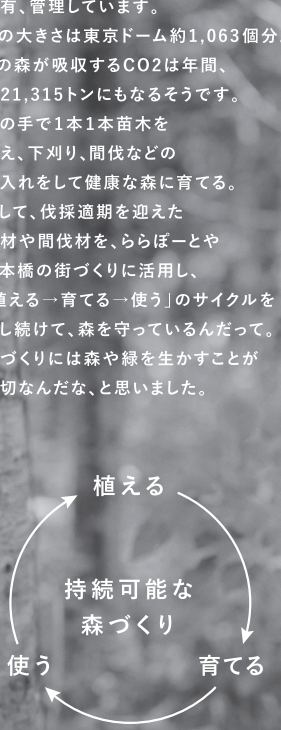
人にやさしい環境をつくる。

TANAKEN

BRANDING WEBSITE

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植える→育てる→使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん

◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林　北海道　深川市湯内

ストーリーを変える、
ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform Tomorrow Today

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株) 京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール **donation@japanphil.or.jp** まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

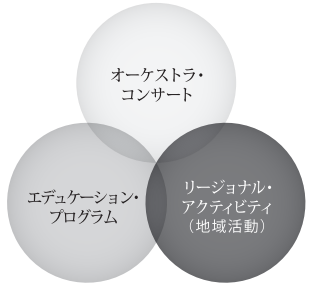
ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

その他右ページも御覧ください

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《*オーケストラ・コンサート*》
音楽との出会いを広げる《*エデュケーション・プログラム*》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《*リージョナル・アクティビティ*》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ　**中山 彩**　東京都　／　**匿名1名**

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越　真樹
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋　庸夫
赤坂維新號 代表取締役会長 鄭　東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口　惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口　敏和
株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤　孝
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田　昭司
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役 八方　健介
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野　計一
稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島　健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保　昇
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 福永　謙二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊　克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉　光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤　茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋　常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑　潔
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田　洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田　順治
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場　二郎
岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川　裕
株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内　義彦
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味　至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本　和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋　太
株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子　正
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生　茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北　博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津　正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野　貴裕
キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮　満
共和建物管理株式会社 代表取締役 平　浩
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野　茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方　健志
株式会社きんでん 取締役社長 上坂　隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月　耕次
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口　敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 梁瀬　哲夫
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村　智史
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂　剛
株式会社興建社 代表取締役 水島　隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼　信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間　省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林　達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川　清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤　幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤　修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤　誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦　卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村　公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井　信宏
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷　正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見　善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内　大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚　雄三
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 新村　達也
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野　眞一
株式会社シェルター 代表取締役会長 木村　一義
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本　達也
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上　亮
株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳　秀樹
杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山　健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原　一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石　博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 青木　裕一
第一倉庫株式会社 会長 小泉　駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口　通子
大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原　茂
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原　睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山　直英
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口　裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島　和人
TANAKEN株式会社 代表取締役社長 中尾　安志
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田　裕之
千代田化工建設株式会社 代表取締役社長 太田　光治
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田　敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本　素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカケンメイ
学校法人帝京大学 理事長 冲永　佳史
株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代
THK株式会社 代表取締役会長 寺町　彰博
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 佐野　傑
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川　毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村　昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 城田　宏明

株式会社東京交通会館　代表取締役社長　細包　憲志
東京美装興業株式会社　代表取締役社長　八木　秀記
東洋熱工業株式会社　代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
学校法人東京音楽大学　理事長　丸山恵一郎
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社ナミキ　代表取締役会長　並木　洋一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　三輪　正浩
株式会社ニフコ　代表取締役社長　柴尾　雅春
日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長・CEO　市井　明俊
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　今井　正
日本電子株式会社
代表取締役社長 兼 CEO　大井　泉
日本パーカライジング株式会社
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　名倉　健司
株式会社バッファロー　代表取締役社長　牧　寛之
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
税理士法人ヒイラギ　代表社員税理士　黒田　榮治
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
株式会社美禅　代表取締役　堀　哲昭

非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
株式会社ファミーユ　代表取締役　新庄眞帆子
富国生命保険相互会社　代表取締役社長　渡部　毅彦
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
古河産業株式会社　代表取締役社長　伊藤　啓真
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO　清明　祐子
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸文株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者　堀越　裕史
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　福留　朗裕
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井不動産株式会社　代表取締役会長　菰田　正信
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　久井　大樹
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　高井　直哉

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　伊佐早禎則
三菱地所株式会社　執行役社長　中島　篤
三菱重工業株式会社　取締役会長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　代表取締役 社長　斉藤　秀親
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長兼CEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
UBE株式会社　取締役会長　泉原　雅人
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役社長　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
代表取締役社長　川上　潤
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広

株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　東　克己

匿名5名

（2025年11月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

青山やすし　東京都
秋元　和美　東京都
明田　重樹　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
新井　康允　神奈川県
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
安西祐一郎　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　百栄　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石津　寿惠　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊藤　昌司　東京都
伊藤　好彦　東京都
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　神奈川県
上田　泰邦　東京都
上野悦子・陽子　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　麗子　東京都
大久保　昇　神奈川県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県
大塚　宣夫　東京都
大坪　昌広　東京都
大森　京太　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
荻窪祝祭管弦楽団　東京都
尾澤　弘久　東京都
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　昌子　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
片山　茂　千葉県
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤　久喜　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　清　千葉県
金子　肇　千葉県
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多𠮷久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木下　盛弘　東京都
木村　惠司　神奈川県
久野　哲男　千葉県
久保田伸一　群馬県
倉谷　宏樹　東京都
栗原眞知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
胡口　靖夫　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　政雄　長野都
小林　裕美　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
坂井　康柄　神奈川県
定形　哲　神奈川県
齋藤　武則　東京都
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
佐藤　正知　東京都
佐藤　順英　福島県
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　神奈川県
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
菅　千太郎　東京都
杉本　功　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
空田　幸徳　東京都
高井　延幸　神奈川県
高木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
髙田　信子　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県
田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
積田　孝一　東京都
一般社団法人
東京フロイデ合唱団　東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
中西　祥子　東京都
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中山　彩　東京都
那須　雄治　東京都
裏 年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西谷　公男　東京都
西村　醇子　神奈川県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　順子　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県
蓮見　正純　東京都
濱田　尚人　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日高　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
広瀬　晴子　神奈川県
廣田　直人　東京都
深沢　茂実　神奈川県
深見　敏正　東京都
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤原　真也　東京都
星　桂太朗　東京都
細谷　義徳　千葉県
牧野　澄夫　東京都
増井　俊之　神奈川県
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　譲　東京都
松村　美希　東京都
真野美千代　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮本　裕二　兵庫県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森川　智之　神奈川県
森田　大輔　神奈川県
森田ハルヨ　東京都
矢口　敏和　千葉県
矢倉　俊紀　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　岳彦　栃木県
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
山本　棟子　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉江　健志　千葉県
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉谷由美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邊　裕志　山口県
Maru
M.K.
匿名66名

（2025年10月27日現在
50音順・敬称略）

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

音楽でつながる地域の力

◆ 企業・自治体と紡ぐ文化のかたち ―― 山口県宇部市での取り組み

日本フィルは、全国各地で地域の皆さまと共に音楽文化を育む取り組みを行っています。

山口県宇部市での「UBEクラシックコンサート」はその代表的な事例の一つです。

2008年にUBE株式会社の地域貢献活動として始まったこの事業は、UBE株式会社・宇部市・宇部市教育委員会・日本フィルが連携し、まち全体を巻き込んだ取り組みとして発展してきました。メインとなる渡辺翁記念会館でのオーケストラ公演に加え、病院訪問、中学校の吹奏楽部に向けたクリニック、公開リハーサルなど、多角的なアプローチが展開されています。

今後も企業、自治体、音楽団体の共同参画事業のモデルケースとして、また「子どもたちの教育」に視点を置いた次世代音楽文化振興事業として推進して参ります。

◆ 市民とつくる音楽文化 ―― 50年にわたり受け継がれる音楽の風景

一方、1975年にスタートした九州公演が、2025年2月に大きな節目となる第50回を迎えました。日本フィルと九州各地の市民ボランティアの方々による実行委員会が50年という長年にわたり共に築き上げてきたこの公演は、世界でも類を見ない、持続的な市民参加型の音楽文化プロジェクトです。

「聴き手」である市民が「創り手」にもなり、地域に深く根付く音楽文化活動を継続してきました。音楽がもたらす励ましや希望、そして子どもたちへ音楽がもたらす創造力や勇気を半世紀にわたって発信し、今では各地の欠かせない年中行事となっています。

さらに、第50回記念九州公演は「第23回佐川吉男音楽賞 奨励賞」を受賞。選考委員からは「市民が参加することによって音楽の普及に大きな成果をもたらしている。それが50年もの長きにわたり途切れることなく行われてきたことは高く評価できる。（中略）2026年の楽団創立70周年に向けて、芸術性と社会性を両輪とする同楽団の活動が一層発展することを期待したい。」と、高い評価をいただきました。

すべての人に音楽を ―日本フィルの活動―

▲ 中学校の吹奏楽部に向けたクリニック

▲ 2/9大牟田文化会館でのウェルカム・コンサート

▲ 2/15鹿児島公演のロビーにて

Playback プレイバック

9月の公演を振り返ります

PHOTO 1

8月30日
落合陽一×日本フィルプロジェクト VOL.9
万博公演《null²する音楽会　supported by ローム ミュージック ファンデーション》

盛りあがりを見せた大阪・関西万博へ出演しました。大迫力の映像とオーケストラ!

PHOTO 2

9月6日　フレッシュ名曲コンサート

ベートーヴェンの《皇帝》《交響曲第7番》という名曲の決定版を満席のサンパール荒川のお客様にお届けいたしました。齋藤友香理さん（指揮）、島多璃音さん（ピアノ）、コンサートマスター扇谷泰朋でばしゃり。齋藤さんと島多さんの「荒川区の思い出トーク」も楽しく盛り上がりました。

PHOTO 3

9月8日　ロビーコンサート

杉並の永福和泉地域区民センターで出張ロビーコンサートを開催しました。多彩なジャンルの曲で、夏から秋へ移りゆく季節を感じる穏やかで温かい雰囲気に会場全体が包まれました。演奏者の息遣いを間近で感じていただくことができたコンサートでした。

PHOTO 4

9月　東京定期演奏会*

首席指揮者カーチュン・ウォンとの熱狂の?!悲劇的で幕を開けたプレ70周年!カウベルと強烈なハニマーが印象的でした
今シーズンもどうぞよろしくお願いいたします!

PHOTO 5

9月20日　横浜定期演奏会
9月21日　芸劇シリーズ

15時開演となって初の横浜定期と翌日の芸劇シリーズは、ゴジラヴェルと新世界!人生を振り返るような、胸に迫るピアノ協奏曲は髙木竜馬さんでした。首席指揮者カーチュン・ウォン、髙木竜馬さん、前半・後半ともに大活躍の佐竹とパシャリ。

PHOTO 6

9月23日　杉並定期演奏会

ヴァイオリン・戸澤采紀さんによる力強く凛としたブルッフ、小林研一郎マエストロと、深く温かい哀愁漂うブラームス交響曲第4番をお届けしました。

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

今年も第九は日本フィル！

第九特別演奏会 2025

指揮：出口 大地

12/13（土）15:00
［ 横浜みなとみらいホール ］
【第413回横浜定期演奏会】

12/14（日）14:00
［ サントリーホール ］ 残席僅少

ソプラノ：砂田 愛梨　メゾソプラノ：山下 裕賀
テノール：石井 基幾　バリトン：高橋 宏典
合唱：東京音楽大学（12/13）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/14）

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］

12/20（土）14:00
［ サントリーホール ］ 残席僅少

12/21（日）14:00
［ 横浜みなとみらいホール ］
残席僅少

12/23（火）19:00
［ 東京芸術劇場 ］
【第258回芸劇シリーズ】

12/27（土）14:00
［ 東京芸術劇場 ］ 残席僅少
【第259回芸劇シリーズ】

12/28（日）14:00
［ 東京芸術劇場 ］ 残席僅少
【第260回芸劇シリーズ】

オルガン：石丸 由佳　ソプラノ：小川 栞奈
メゾソプラノ：山下 牧子　テノール：錦織 健
バリトン：寺田 功治（12/20～23）
青山 貴（12/27、28）
合唱：東京音楽大学（12/20、21）
武蔵野合唱団（12/23）
日本フィルハーモニー協会合唱団（12/27、28）

メンデルスゾーン：
オルガン・ソナタ第1番 op.65 より Ⅱ.アダージョ
パッヘルベル：
クリスマス・コラール《高き天よりわれは来たれり》
J.S.バッハ：
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
（以上3曲オルガン独奏*）
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

チケット料金（全席指定・消費税込）	S ¥10,000　A ¥9,000　B ¥7,500　C ¥6,000　P 合唱団席 Ys（25歳以下）¥4,000　Gs（70歳以上）¥6,000（12/13除く、12/20完売）	好評発売中

協賛　エレコム株式会社（12/14）、ローム株式会社（12/20）、千代田化工建設株式会社（12/21）、非破壊検査株式会社（12/23）、大栄不動産株式会社（12/27）、ウエルシアホールディングス株式会社（12/28）

お申込み　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日10時-17時）
eチケット♪［ 席を選んで申し込みできます ］ https://eticket.japanphil.or.jp/

Member's TVU CHANNEL
CLASSICAL MUSIC
クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます（特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

6月6日 東京定期演奏会　指揮：ガボール・タカーチ＝ナジ　チェロ：ミクローシュ・ペレーニ　12/5まで!
ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲　ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲
モーツァルト：交響曲第41番《ジュピター》

7月5日 横浜定期演奏会　指揮：原田 慶太楼　ピアノ：阪田 知樹
ラフマニノフ：ヴォカリーズ、パガニーニの主題による狂詩曲、交響曲第2番

7月11日 東京定期演奏会
指揮：広上 淳一　バス・クラリネット：フランス・ムソー　女声合唱：東京音楽大学
佐藤聰明：バス・クラリネット協奏曲《ファン・ゴッホへのオマージュ》
ホルスト：組曲《惑星》

9月12日 東京定期演奏会　指揮：カーチュン・ウォン
マーラー：交響曲第6番《悲劇的》

9月21日 芸劇シリーズ　指揮：カーチュン・ウォン　ピアノ：髙木 竜馬
伊福部昭：SF交響ファンタジー第1番　ラヴェル：ピアノ協奏曲
ドヴォルジャーク：交響曲第9番《新世界より》

9月27日 さいたま定期演奏会　指揮：小林 研一郎　ヴァイオリン：神尾 真由子
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番　チャイコフスキー：交響曲第5番

10月17日 東京定期演奏会
指揮：カーチュン・ウォン　ピアノ：小川 典子*　トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ*
ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番*　ショスタコーヴィチ：交響曲第11番《1905年》

10月31日 東京定期演奏会
指揮：小林 研一郎　ヴァイオリン：千葉 清加　ヴィオラ：安達 真理
モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲　シベリウス：交響曲第2番

11月22日 横浜定期演奏会　指揮：太田 弦
チャイコフスキー：交響曲第5番

11月28日 東京定期演奏会　指揮：山田 和樹
武満徹：マイ・ウェイ・オヴ・ライフ　ラヴェル：ボレロ　他調整中

■ もうすぐ発売

2025年12月3日（水）発売

コバケン・ワールドVol.42

2026年3月20日（金・祝）14:00開演
サントリーホール

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
クラリネット：伊藤 寛隆［首席奏者］

モーツァルト：クラリネット協奏曲
ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

S¥7,300 A¥5,800 B¥4,700 P¥3,700
Gs（70歳以上）¥4,500 Ks（25歳以下）¥2,000

2025年12月11日（木）発売

年間・春夏　東京定期会員券
年間・春夏　横浜定期会員券

※詳細は挟み込みのチラシをご確認ください

2025年12月17日（水）発売

コバケン・ワールドVol.43-45セット券

- **Vol.43／2026年4月18日（土）**
  サントリーホール
- **Vol.44／2026年9月27日（日）**
  サントリーホール
- **Vol.45／2027年3月 6日（土）**
  横浜みなとみらいホール

2分でわかる 大人のための オーケストラ入門
Japan Philharmonic Orchestra

あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典吏子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道がお答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

①毎月10日・20日の19時　日本フィルのSNSで公開!
②ロングバージョン「2分でわかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

11月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）匿名2名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日10 時～17 時） FAX：03-5378-6161（24時間） E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	カーチュン・ウォン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン		
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ		

ソロ・コンサートマスター	扇谷 泰朋				
ソロ・コンサートマスター	木野 雅之				
ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋				
アシスタント・コンサートマスター	千葉 清加				
第1ヴァイオリン	伊藤 太郎	太田 麻衣	九鬼 明子		
	齋藤 政和	榊 渚	竹歳 夏鈴		
	谷﨑 大起	田村 昭博	中谷 郁子		
	西村 優子	平井 幸子	本田 純一		
第2ヴァイオリン	遠藤 直子	大貫 聖子	岡田 紗弓		
	神尾あずさ	佐藤駿一郎	末廣 紗弓		
	豊田 早織	町田 匡	松川 葉月		
	山田 千秋				
ヴィオラ	安達 真理☆	江藤 史織	小俣 由佳		
	小中澤基道	児仁井かおり	高橋 智史		
	中川裕美子	中溝とも子	松澤 稚奈		
ソロ・チェロ	門脇 大樹				
ソロ・チェロ	菊地 知也				
チェロ	石崎 美雨	伊堂寺 聡	江原 望		
	大澤 哲弥	久保 公人	篠原 和仁		
	山田 智樹				
コントラバス	鈴村 優介	成澤 美紀	宮坂 典幸		
	森田麻友美	山口 雅之			
フルート	真鍋 恵子◎	斎藤 光晴	難波 薫		
オーボエ	杉原由希子◎	松岡 裕雅○	佐竹 真登		
クラリネット	伊藤 寛隆◎	楠木 慶○	照沼 夢輝		
ファゴット	田吉佑久子◎	鈴木 一志○	中川日出鷹		
ホルン	丸山 勉☆	信末 碩才◎	伊藤 舜		
	原川翔太郎	村中 美菜			
ソロ・トランペット	オッタビアーノ・クリストーフォリ				
トランペット	大西 敏幸◎	犬飼 伸紀○	中里 州宏		
	中務 朋子	星野 究			
トロンボーン	伊藤 雄太◎	笠間 勇登○	福島 莉那		
バス・トロンボーン	中根 幹太				
テューバ	柳生 和大				
ティンパニ	エリック・パケラ◎	池田 健太○			
パーカッション	大河原 渉	本間 雄也			
ハープ	松井 久子				

楽団長	伊藤 寛隆		
チーフステージマネージャー	阿部 紋子		
ステージスタッフ	長橋 健太	森田 大翔	
チーフインスペクター	佐藤駿一郎		
インスペクター	鈴村 優介	谷﨑 大起	
ライブラリアン	鬼頭さやか	坂庭 吏映	杉本 哲也

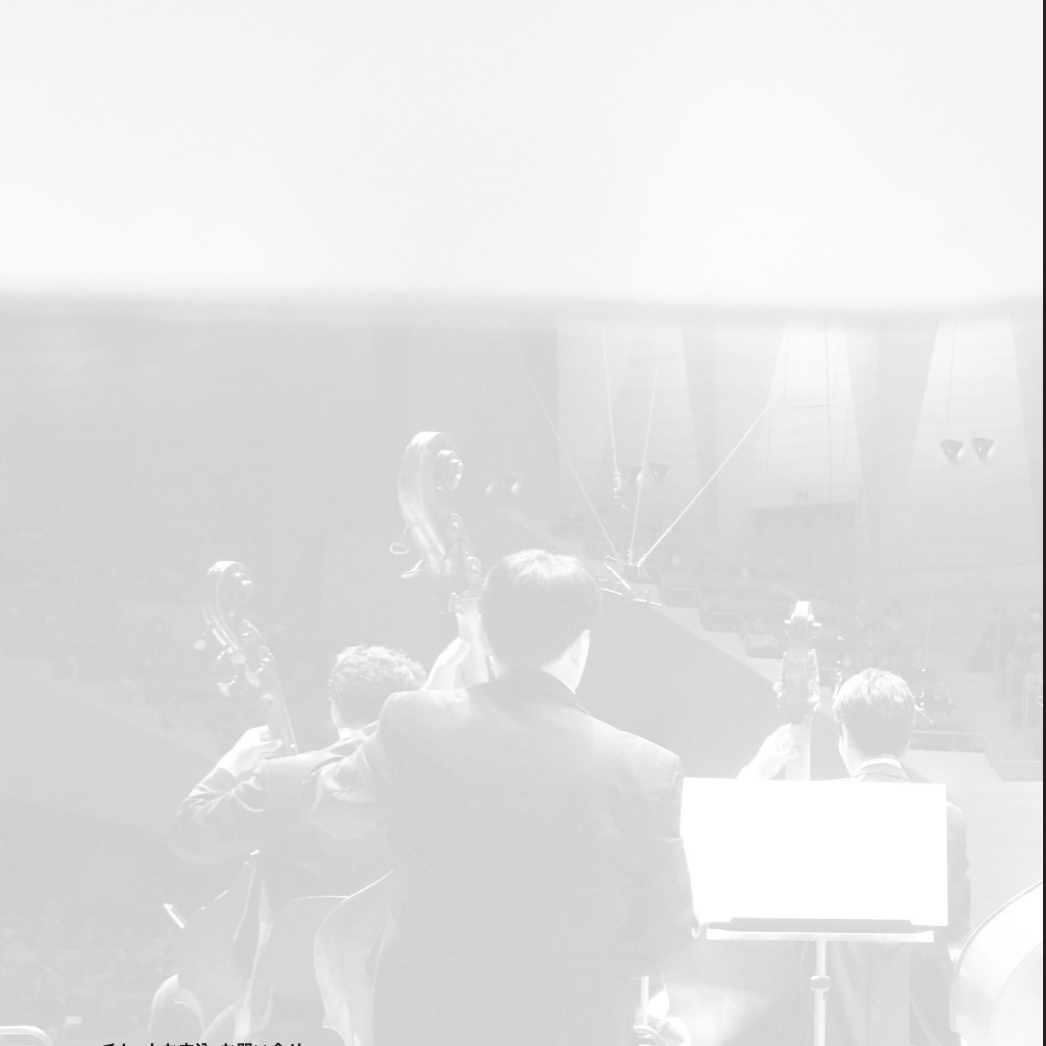
☆客演首席奏者　◎首席奏者　○副首席奏者　□試用期間

会長（代表理事）	平井 俊邦
理事長（代表理事）	石塚 邦雄
副理事長（代表理事）	五味 康昌
専務理事（代表理事）	福井 英次
常務理事（代表理事）	後藤 朋俊
理事	石井啓一郎／佐々木経世
	田村 浩章／戸所 邦弘
	葉田 順治／福本ともみ
	別府 一樹
監事	福澤 宏哉／細谷 義徳
評議員会会長	加藤 丈夫
評議員	青井 浩／安孫子 正
	荒蒔康一郎／石村 等
	稲垣 尚／内川 清雄
	大塚 宣夫／梶浦 卓一
	河北 博文／喜多 崇介
	木村 惠司／久保田 隆
	小林研一郎／島田 精一
	津田 義久／中根 幹太
	西澤 豊／野間 省伸
	福満 一夫／村上典吏子
	山口多賀幸
名誉顧問	熊谷 直彦
名誉顧問	島田 晴雄
名誉顧問	田邊 稔
チーフマーケティングオフィサー	伊藤 治彦
マネジメント・スタッフ	淺見 浩司／磯部 一史
	江原 陽子／及川ひろか
	小川紗智子／荻島 里帆
	賀澤 美和／香取 春子
	金田 雅子／小須田 萌
	佐々木文雄／澤田 智夫
	篠崎めぐみ／杉山 綾子
	杉山まどか／髙橋 勇人
	田中 正彦／槌谷 祐子
	中村沙緒里／西田 大輔
	西田 真菜／長谷川珠子
	樋高 雄太／藤田 千明
	古舘 順一／益滿 行裕
	宗澤 晶子／山岸 淳子
	吉岡 浩子／和田 美希
シニア・パートナー	新井 康允／伊波 睦
	永島 義郎／南部 洋一
	吉江 信博

団友：

青柳 哲夫	青山 均	赤堀 泰江	
新井 豊治	石井啓一郎	伊藤 恒男	
伊波 睦	宇田 紀夫	遠藤 功	
遠藤 剛史	大石 修	覓 美知子	
柏熊由紀子	加藤 祐一	金本 順子	
蒲谷 隆行	川口 和宏	川口 貴	
菊田 秋一	岸良 開城	吉川 利幸	
木村 正伸	小林 俊夫	小山 清	
斎藤 千種	佐々木裕司	佐藤 玲子	
菅原 光	髙木 裕子	髙木 雄司	
高木 洋	高倉 理実	髙山 智仁	
田沢 烈	立川 和男	堂阪 俊子	
富樫 尚代	豊田 尚生	中川 二朗	
永田 健一	中務 幸彦	奈切 敏郎	
橋本 洋	畑井紀代子	平賀 法子	
福島 喜裕	松本 克巳	松本 伸二	
三本 克郎	宮武 良平	三好 明子	
森 茂	山下 進三	山科 淑子	
渡辺 哲雄			

（2025年11月1日現在）



チケットお申込・お問い合せ

［日本フィル・サービスセンター］
TEL.03-5378-5911（平日10時～17時）

eチケット♪ https://eticket.japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
https://japanphil.or.jp

公式 X（旧Twitter）
@Japanphil

公式アカウント

公式インスタグラム
JAPANPHIL.OFFICIAL

日本フィル公式YouTube / @JapanphilMovie
「2分でわかる！
大人のためのオーケストラ入門Plus＋」
＼毎月10日・20日にお届け／